

『夢を実現する条件』～究極の成功哲学～

「まえがき」

「大いなる夢を描け。」この言葉から本書は始まる。いや、人間の人生も、国家の運命も、世界の運命も、この言葉から始まってゆくといえるのである。

まず、あなたの夢が、人間として一生の大志に足る「大いなる夢」であるか否かを、よくよく良心に問うていただきたい。多くの人々は、たとえ夢を抱くといっても小さな夢を描くのみであり、その小さな夢によって、かえって自分の人生を自己限定してしまっているように思う。

まさしく「念い」こそが、「念いの質」こそが、その人が一体何者かということを決めるのであって、人間は皆、自らの「念い」によって日々自らを創り、自己を実現しているものなのである。

よって、大いなる人生、偉人の如き人生を、まず「大いなる夢」として掲げよう。大いなる夢は、まず掲げるだけで価値があるので、その夢が無私で崇高なものであればある程に、そこから無限のエネルギーと情熱と愛と智慧と希望と勇気が満ち溢れてくるものである。

自己の理想像こそが、自分にとっての最高の心の支えであり、最高の師なのである。故に、人生は様々に定義されうるものであるが、あえて私は、「人生とは大いなる夢を実現することである。」といっておきたい。

かつて吉田松陰は、「志のないものは無志(むし)である。」と、「志こそが人間を人間たらしめる条件である。」と述べられている

が、私も多少違った意味で大いなる夢を真に描き、真に実現してゆくそのプロセスを経験できない人間は、本当の意味での幸福感と人間の可能性がお分かりになれないのではないかと思う。

確かに、この地上で「大いなる夢」を実現することはたやすいことではない。いくつもの困難や挫折や試練を乗り越えてゆかなければならぬだろう。

しかし、眞の意味で成功するための法則と真理を体得し、実践した者には、容易に困難や挫折や試練を乗り越え、成功の王道を歩みきることができる。

眞の成功の王道を、如実に眞理そのものとして書き綴ったのが本書である。この成功の眞理を一つずつ実践されれば、必ず成功の奇蹟が起こるはずである。

JDR総合研究所・代表 天川貴之